

話題の健康づくり

アラカルト

35 健診受診者数

受診抑制により受診率が低下

1割の未受診者が発生する可能性も

皆さんは今年健康診断を受診されましたか。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、受診機会を逃したり、大勢が集まる場所には



行きたくないとお気持が受診抑制につながり、健康診断受診率の低下が問題視されています。

1月から9月期の健康診断受診者数は約1400万人で前年同期より約700万人減少していました。緊急事態宣言期間中の4月・5月の落ち込みは対前年同期比8割減となり、その後は回復傾向にあるものの、1割減の状況です。今後の傾向が続けば、

今年度未受診に約1割の未受診者が発生する可能性が示唆されています。

(社)日本総合健診医学会と(公社)全国労働衛生団体連合会が公表している会員機関(全国180機関)が回答へのアンケート調査結果では、令和2年

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がかか

る可能性があるという。健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

早期発見で適切な治療を受けることが重要です。早期発見にがん検診の果たす役割は大きく、検診やその後の受診機会を逃すことで進行がんが増えるリスクが懸念されます。生活習慣病に関しても検査結果の変化をこまめに確認し、生活改善を行う時期から生活改善を行えば少々の努力で予防につながります。在宅勤務や外出の自粛などコロナ禍で生活様式が変わり健診結果に影響がみられる方も多いようです。新型コロナウイルス

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか



下痢には急性と慢性があります。急性の下痢の多くはウイルスや細菌が原因です。ウイルス性ではノロウイルスが最も多く、細菌性ではカンピロバクターが半数以上といわれています。

ノロウイルスは冬に増加し、潜伏期間は1~2日

で吐気やおうとを伴います。カキなどの生の二枚貝

や感染した人の手を介して少量(10~100個のウイルス)でも感染します。

カンピロバクターは潜伏期間が2~5日で、下痢になる前に発熱が先行することがあり、インフルエンザと間違えられることがあります。

感染の原因は主に生の鶏肉ですが、焼き鳥などでは肉と肉の間の加熱が不十分な場合にも感染します。これらの予防としては食品の十分な加熱と手洗いや調理器具の消毒が大事です。一方、新型コロナウイルス

でも下痢の症状が出る場合がありますが、感染経路は主に感染者の咳や会話により生じる空気中のひまつを吸い込むことです。潜伏期間は平均5日なので、数日前にマスクなしで会話していないか思い出する必要があります。このウイルスの最も効果的な感染対策は話す時は必ずマスクをつけることです。

慢性の下痢では冷えが原因のことがあります。西洋薬では、

主に腸の蠕動運動(ぜんどううんどう)を抑えることで下痢を止めますが、冷えを治す薬はありません。

漢方薬には体を温める生薬(乾姜;カンキョウ、附子;ブシなど)があります。処方例では人参湯(ニンジンとう)や真武湯

(シンブとう)など薬局でも購入できます。また消化管からの水分を吸収する薬や、下痢時の胃腸のけいれんによる痛みを和らげる薬もあります。慢性の下痢でお悩みの方はご相談ください。

(健康科学センター 診療所長 武生 英一郎)

急性と慢性の下痢

ウイルスや細菌、冷えが原因



県民の健康を守ることを目的に

禁煙に関する支援活動を継続

平成14年4月、県民の健康を守るための行動計画として、「健康ひろしま21」と「元氣じゃけんひろしま」を策定し、健康づくり運動を総合的に推進していくこととしました。

このような中、たばこの害から県民・市民の健康を守ることを目的として、広島県医師会、広島県薬剤師会、広島県看護協会、広島県環境保健協会の6団体が連携し、同年の8月に本ネットワークを設立しました。

今年度の研修会は見送りとなりましたが、引き続き禁煙に関する支援活動を継続し、皆さまの健康づくりに貢献していきます。

今年度は「防災・減災」「広報・ツールづくり」をテーマとして実施しています。ぜひ、ご参加いただき、地域の健康で住みよいまちづくりや公衛協の周知に生かしてください。

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

「防災・減災コース」

- 西部会場(環境保健協会) 令和3年1月14日(木) 10:30~16:00
- 東部会場(環境協東部支所) 令和3年1月15日(金) 10:30~16:00

「広報・ツールづくりコース」

- ～たより・チラシ編～
- 西部会場(環境保健協会) 令和3年2月18日(木) 10:30~16:00
- 東部会場(環境協東部支所) 令和3年2月19日(金) 10:30~16:00
- ～Facebook編～
- 環境保健協会 令和3年2月20日(土) 10:30~16:00

知識・技術の向上に

専門研修の活用を

環境協では、公衆衛生推進委員の専門的な知識・技術の向上を目的に環境づくり、健康づくりに関する「専門研修」を実施しています。

どの研修も推進委員として基礎的な知識や技術を、学べるものとなっております。ぜひ、ご参加いただき、地域の健康で住みよいまちづくりや公衛協の周知に生かしてください。



30 禁煙支援ネットワーク

当協会が事務局を務める広島県禁煙支援ネットワーク(以下、ネットワーク)は、毎年、ひろしま健康づくり県民運動推進会議と共催して研修会(公開講座)を開催しています。今年度は10月に福山市での開催を計画していましたが、新型コロナウイルス対策のため開催を見送りました。そこで、今回はネットワークの設立経緯や目的などを紹介したいと思います。

今年度は「防災・減災」「広報・ツールづくり」をテーマとして実施しています。ぜひ、ご参加いただき、地域の健康で住みよいまちづくりや公衛協の周知に生かしてください。

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第1位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人がか

(企画調整課 石本雅清)